



■ シニアの料理教室 幹事 榎本享二

一昨年12月に「シニアの料理教室」開催を提案して、現在まで都合7回の企画を推進してきました。



私の趣味“アウトドア”では毎回料理長役を担当して食事作りをしてきました。自分が作った料理を仲間が喜んで食べてくれるのは私自身の喜びでもあります。みんなで話し合いながら、飲み・食べるというのは本当に楽しいものです。



この写真は6年も前になりますが、シニアクラブの仲間と奥多摩でキャンプをした時のものです。ここに並ぶ料理の大半は私が準備したものでした。

このような場を通して、心の中に長く温めてきたものがこの料理教室企画提案となっています。

第1回目は、私が講師となって“イエガーのバックケン”を紹介しました。これはドイツの家庭料理で家で食べるもよし、アウトドアで食べるもよし、私自身何度かこれを作り家族や仲間から好評を受けていたものです。



中野にある レンタルキッチンを利用しての開催で、スペースの都合上8人の参加となりましたが、作った料理を酒の肴とし、それぞれが持ち寄った飲み物でグラスを交わし、楽しい時を過ごしました。

最初はこの企画が続くものかどうか考えてもいませんでしたが、参加者の好反応で、第2回は“蕎麦打ち会”と決まり、以降、料理講師の申し出が続いて、現在まで会を重ねてきました。

結果的にシニアクラブのヒット企画となったと思っています。今までの内容とレシピはそれぞれシニアクラブHPに報告されているのでご覧ください。

昨年11月には大高家で「手作りジャム」の会が催されましたが、自宅冷蔵庫はいっぱいのジャムで溢れかえり主の強い取り組みを感じました。

ここで特筆すべきことは、料理を作る楽しさだけではなく、料理手法に面白い工夫がある事などシニアの実力を再発見出来たことです。昨年9月の「お好みシュウマイ」で宮田講師が実践したシュウマイ包みは素晴らしい手法でした。具をシュウマイの皮に乗せ、底を抜いた紙カップをくぐらせるだけで「シュウマイ一丁出来上がり！」というものです。



また「餃子」の時には皮を包み込むのに、100円ショップで売られる便利な器具を見つけて紹介する人もいて、参加者皆がこの料理教室推進に参画していると感じました。

料理は楽しい作業です。工夫次第で美味しい料理を作ることが出来ます。頭をフル活用するし、体も指先も動かす為ボケ防止に最適です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。また簡単な料理やお菓子などのレシピの投稿および新たに講師を名乗り出いただけることを期待しています。

■ Online 会合報告 (2025. 02. 25)

今回の会合で「殖栗家」のルーツが紹介されました。名前は古く飛鳥時代にまでさかのぼる家系です。



最近流行の生成AI、CHAT GPT  を駆使して調べたとのこと、生成AI技術は日に日にその正確性を増してきているようで、自身の家系調査には随分と役だったとのこと。これに触発されてか、別の参加者からも自身のルーツを探ってみたいとの話も出てきています。探りがいのある家系をお持ちの方は是非トライしてみてください。

会合報告は <http://jvc-senior.com/20250225online.pdf> 参照

■ 続 トランプワールド

トランプ大統領の再就任で1か月余が過ぎました。まさしく“アメリカ・ファースト”まっしぐらという状況です。否、“俺だけ・ファースト”というべきでしょうか。

自身の功績をアメリカ国民にアピールしているようです。大統領令を機関銃のごとく発布し、米国議会、そして同盟国の欧州首脳などはさすがに疑義を持ちながらもその動きはやむ気配がありません。これを制御する機能は存在しないのでしょうか。一部にはトランプ大統領と国民との間のハネムーンは終わり、就任直後の50%を超えていた支持率は下がって不支持率と逆転しているとの報道もあります。イーロン・マスク氏の政府機関職員への極端な締め付け策も足を引っ張っているのでしょう。

得意の関税で自国への輸入を抑え、国内産業回帰を図っていますが、要は「アメリカ国内にもっと投資してここで物を作れ！」と言っているわけです。これは一つの戦略でしょうが、すべてを自国内でできているのでしょうか？ 輸入品の物価高騰で迷惑するのは自国民です。インフレを招く懸念も生じています。

会社、JVCケンウッドは米国向けの無線通信機器が売れて業績好調、株価も上昇と好循環を見せていましたが、このところ株価も若干下がり気味です。これもトランプ大統領のせいなのでしょう。

日本政府の断固たる交渉が必要です。

▶ ここにきて気になるのが、ロシア・ウクライナ戦争終結の行方です。“俺だけ・ファースト”でノーベル平和賞狙いなんて許されるものではありません。

■ 2馬力選挙

昨年の兵庫県知事選で本人は当選するつもりはなく、“特定の候補を支援するために立候補”という今まで考えられなかった選挙選が行われました。



今月、3月16日には千葉県知事選が予定され、2月27日に告示・立候補の届け出が行われました。この選挙でも、また特定候補応援のために立候補するとの話が事前にありましたが、応援される側は「迷惑！」と表明していました。

“自身の当選を求めず、他候補を応援する形での立候補”は、新たに「2馬力選挙」なる新語を生み出しました。

特に、首長選挙など当選者が一人のケースではこの手法は相当に効果があるといえるでしょう。

現在の選挙法の穴を突いた形となっており、今国会では選挙の公平性を担保する法改正に向けて議論されています。

▶ 現行の選挙法は1950年(昭和25年)に施行され、以降、長い間この法の下に各種選挙が実施されてきています。加速する世の中の変化に法が追いついていないところがあります。SNSによる情報発信など、選挙公報のあり方なども見直す必要があるでしょう。

■ 事務局から

・「シニアの料理教室」が楽しい企画として続いています。4月5日(土)には、これまた簡単に料理できる「ペットボトルチャーシュー」です。次をご覧ください、参加申し込みをお願いします。 <http://jvc-senior.com/20250405cooking.pdf>

・今年夏の参議院選挙ではJAMは組織内候補を国政の場に送り込むべく、全力を挙げて取り組んでおり、シニアクラブも共に応援しています。

2馬力などとは言わず、多くの人たちの力を結集すれば何万馬力もの力になるはずですよ。

皆様のご支援をよろしくお願いします。



画像は「JAM ホームページから引用」 <https://www.jam-union.or.jp/>

・次はJAMシニアクラブのサイトです。この中から機関誌をクリックしてご覧ください。全国での取り組みが紹介されています。 <http://jam-senior.club/>

事務局長 田代 周